

山菜てんぷらとギフチョウを楽しむ会成功裡に終了

4/16～17に行われた上記の催しは群馬昆虫学会関係 8名、多摩虫関係 30名の参加をもってにぎやかに行われた。大多数は 16 日朝長岡のホテルニューオータニに一旦集合後（前夜泊の人もありました）総支配人の吉崎さんのポイント案内をもらってゆく人、勝手知ったるところと目当ての産地へ行く人等で 8～9 台の車はあつと言う間に見えなくなった。

ここは与板町うまみち森林公園、よさそうなポイントがえんえんと続く、しかし雲厚く肌寒いくらいでギフの飛ぶ雰囲気ではなかった。車で通った関越トンネルで新潟県側に出た関越道脇の例年にない雪の多さや、波打った道路、外壁や中央分離帯の建造物のでこぼこな様子から中越地震のすさまじさを思い浮かべながらじっと待つこと 1 時間以上、やっとお日様が顔を出し暖かくなってきた。時すでに 11:00、今回の企画役員の一人が運転するこの車は 11:30 にはここを立ち寺泊近くの天ぷら会場に行かねばならないのだ。

結局、3人で4♂得たのみで出発、天空は快晴となるもギフの姿は極単に少なかった。

和島村落水のオートキャンプ場にはすでに準備が整い和気藹々で天ぷらが始まった。

ここは有料だけあって日本海を真下にみる絶景の地で設備もよく整い、青空とあいまって天ぷらの上手いことうまいこと…皆満足そうであった。きっとここにもギフがいるよとの私の予言とおり、小学生の中岡君が 1 頭ゲットしていたし、宴たけなわのころフラフラと飛び出した 1♂を徳永さんがゲット、最後の参加表示日帰りの添君親子とおばあさん（遠い所まで有難うございました、添君もどこの勤務地へ飛ばされるかわからず、心をこめての家族サービスになったことでしょう）の参加も含めて今回は奥様連れが多く華やかな雰囲気であった。しかし本当に今年の新潟はギフが少ないらしく、初ギフで感激一杯の中岡君が元気に 5 頭採っていたほかは皆 1～2 頭で会った。3 時にホテルへの事で少々時間ができ天ぷらにも満腹したので、中岡君、松田先生と共にネット持参で散歩、谷間で私が 1 ♀ゲットした。

夜の部はフランス料理のコースで吉崎さんのお陰でボリュームがあつたが、新潟県特有の少ししょっぱすぎるものもあって食べ残したものも出てしまった。酒はご好意で乾杯のビール以外は持ち込みで豊富、蝶のビデオを眺めながら自己紹介、ピンセット展翅等の実演、清水歯科医院特製の軟化剤配布等盛りだくさんでいつしか夜はふけてゆき、明日の天気は…晴れ時々曇りを確認して打ち上げ、後は覚えていない。飲んべ組はその後何処かの部屋でドンちゃん騒ぎか?!!

目をさますと柔らかい朝の日差し、今日こそギフをたっぷり採るぞ…柏崎方面へ行く組、村上方面への組、昨日の場所へゆっくりもう一度の組み、団体は 21 人でまあ 3 桁は採れるでしょうと吉崎さんの言う安田町赤松森林公園へ巻町在住の宍倉万夫氏の案内で出発、しかし誰か絶対に普段の行いの悪いものがいたのだ（当会にはそんな人はいない筈と信じていたのであるが?）その頃から天気はどんどん下り坂肌寒くなり柏崎組がかろうじてギ

フに会えたものの、他の組は方法の体で引き上げる羽目となった。われわれも少しでもの可能性をかけ空の明るい長岡方面へ引き返したが、時すでに遅くギフの飛ぶ雰囲気ではなく、通称、東山と呼ばれる桜峠付近の椿沢町のポイントとごっそり残った雪を眺めて昼過ぎ東京への途へ着いた。

2年続きで天気は1日だけと言うことになってしまったが、小出さん、池沢さん、清水さん他の群馬勢と企画の3方、吉崎、宍倉さんら多くの皆さんのお力添えで又楽しいときを過ごさせていただきました、ご参加の方を含め皆様有難うございました。

なお、この件につきましては次号多摩虫に渡辺隆さんより詳しい報告がなされるはずですが、お楽しみに…



G多摩虫05山菜ギフの会 (05.4.16)

- \* 2年後は当会の創立30周年にあたります。記念として‘東京都の蝶データ集発行’は予定しておりますが、他にも何か記念行事をやりましょうと言うことを総会で決定しています、まだ先の話ということで具体的な内容を煮詰める機運がなかなかのってきせん、しかし、そのための運営資金を少しずつでも準備して行かねばなりません。そのような訳で総会の席上複数の方から提案のあったセリ会の売り上げの一部を提供

かどうかを検討の結果採用してみる頃にしました。お互い負担とならぬよう 2 割の提供はどうかと言う提案（別会計とする）もありまして、とりあえず試行的にスタートしたいと思います。大変申し訳ありませんが皆様の絶大的なご協力を宜しくお願い申し挙げます。

- \* 60 歳以上が主役のインタビュー・投稿誌 大人からの情報発信という季刊誌があります（日々発見の会、03-3209-8336 ¥500）そこから多摩虫宛に長年蝶の採集を続けている 70 歳以上の方をご紹介ください、是非インタビューをして 6 月発行号に掲載したいのですとの依頼があり、間野雄次郎さんが適任かなと思ひまして本人にお尋ねしたところ了解を得られましたので紹介し 5/2 インタビュー済みのはずです。興味をお持ちの方は是非一度目を通してみてください。

- \* 新入会員（宜しく願ひいたします）住所、電話変更

中岡 浩貴 〒112-0011 文京区千石 1-6-24-601 1993/12/28 小学生

T&F : 03-3946-2535 Em:ah.nakaoka@nifty.com

津田 増夫 〒181-0016 三鷹市深大寺 2-34-10 1943/2/4 会社員

携帯 : 070-6930-0667 Em:grassmonblue@sheep.livedoor.com

斉藤 軍二 〒359-1132 所沢市松ヶ丘 2-20-3 1943/3/17

Tel:04-2921-1311 Fax:04-2921-1267 携帯 : 090-7637-8572

Em:abz20220@hkg.odn.ne.jp

海和 弘志 〒158-0082 世田谷区等々力 3- 20-9 1935/8/13

T&F : 03-3705-4025 携帯 : 090-6027-9942 Em:sgz02440@nifty.com

田根 徹、コンスダー・スララット 〒335-0021 戸田市新曽 11 新生印刷加工(株)

内 携帯 : 090-9814-7345 (田根のみ変更)

水野 貴祥 携帯 : 080-5049-2748

- \* 6 月例会セリ会要綱

6 月 21 日の例会は恒例の何でもセリ会です。

上述のとおり今回から 2007 年度に迎える多摩虫創立 30 周年記念行事にむけた基金の積み立ても目的に加わり、従来にまして会を盛り上げていただきたく、沢山の出品と活発なセリをお願いします。出品物の落札値より 2 割の供出していただく他は何も変更ありません（不明な点は企画担当者までお問い合わせください）

- 1、出品物リストは 6/7 までにご連絡ください。ML、メール又は葉書（名簿参照）電話にてお願いします。小柴 : 042-327-4321、仲西 : 03-3397-5412、早坂 : 045-823-4430
- 2、出品点数は最多 4 点/人を目途としますが、全体の出品数が少ない場合は更に点数増加を考慮します。希望者は優先の 4 点を指定し、それ以外の希望品があれば併記。

3、出品物リストは、番号/出品者/品名/産地/状態/数量/底値の形でお願いします(例)

1/多摩虫男/オオムラサキ/京都府加茂郡/飼育・展翅品・スギタニ型/1♂/¥500

2/多摩虫男/牧野植物図鑑/絶版・程度良好 /上下 /1組/¥12000

3/多摩虫女/蝶のテレカ/未使用・図はキリシマミドリシ/3枚/1組/¥1500

4/多摩虫男/ハマセンダン /実生苗・30cm高/鉢付 /1本/¥300

5/多摩虫男/ベニヒカゲの写真 /背景に八ヶ岳・デジカメ /A4 /1枚/¥500

以上です。ともかく多摩虫の何でもセリ会で一す。皆さん奮ってご参加ください！！

\* 新聞紙上より

立派な看板を掲げ、近寄り  
がたい店構え。常連客と話し  
込んでいた主人が、ちらりと  
値踏みするような視線を向け  
てくる。骨董店には、ま  
ずこんなイメージがある。  
「外からのぞいたことはあ  
るけれど、入ったことはな

### 著者来店

ったんですよ。大体、僕の買  
えるようなものがないじゃな  
いですか」。そう話す仏文学  
者で埼玉大学教授の著者が、



■「東京美術骨董繁盛記」

奥本 大 三 郎 さん

## 標本商に通じる世界

協会会長、日本アンリ・フアー  
ブル会理事長も務める。標本  
も骨董も、価値が分からない  
と話にならないのは同じだ。  
「パリの標本商には、黒い  
ラシヤを敷いた標本箱に金ビ  
カの虫を美しく並べた店があ  
る。ところがその虫は、原産  
地ではつくだ煮に出来るくら

修業して独立した人と、趣味  
が高じて店を始めてしまった  
人と。買い付けの成功や失敗  
談、益田鈍翁、松永耳庵、北  
大路魯山人など美に取りつか  
れた人々の逸話が面白い。  
はた目には閑雅なこの業界  
も、景気や社会の動きと背中  
合わせ。最近では金持ちの中国

人客が増え、中国の古美術品  
を買い戻す。戦争が起きた国  
から文化財が流出する。「金  
の流れをそのまま映す、非常  
にリアルな世界」と改めて感  
じた。  
今年11月には、長年の仕事  
であるフアーブルの大著「昆  
虫記」の完訳版  
が集英社から刊  
行を始め、自宅  
敷地に建設中の  
博物館「虫の詩人の館」も完  
成する。この探訪記は、忙中  
閑ありの一冊でもある。  
知らなかったが、奥本さん  
は碗のコレクターでもある  
そう。写真で手にしている  
のは端溪。素人の目にも、何  
とも感じの良い一品だった。  
(中公新書、920円) (清)

東京の京橋、日本橋界隈の美  
術骨董商を探訪した。画商や  
古書店も含めて18軒。小林秀  
雄、川端康成などの文士に愛  
された「壺中居」をはじめ、  
名だたる老舗も多い。  
奥本さんはつとに知られる  
昆虫愛好家である。日本昆虫

い手に入るモモフトハムシ。  
そこで「箱だけ売ってちょう  
だい」と言うと、この客はモ  
ノが分かっている、と向こう  
も一目置きますね」  
店の主人がおよそ2種類に  
分けられるのも、標本商に似  
ているという。小さい時から

今年11月には、長年の仕事  
であるフアーブルの大著「昆  
虫記」の完訳版  
が集英社から刊  
行を始め、自宅  
敷地に建設中の  
博物館「虫の詩人の館」も完  
成する。この探訪記は、忙中  
閑ありの一冊でもある。  
知らなかったが、奥本さん  
は碗のコレクターでもある  
そう。写真で手にしている  
のは端溪。素人の目にも、何  
とも感じの良い一品だった。  
(中公新書、920円) (清)